

第 92 回 高水三山ハイキング

大井 泰典

(株オオイ (第 6 支部)

2019年6月9日 雨

6月9日(日)、東塗商ハイキング同好会による高水三山ハイキングが実施されました。

ハイキング参加者は、若林さん、石井さん、高橋さん(青年部)、乾さん、原夫人、山本さん、私(大井)の7名。打ち上げからの参加者は磯部さん、原さんご主人の2名でした。

午前9時15分、JR青梅線軍畑駅に集合。雨が降っていたため、雨具の準備をして出発。しばらく車道を登って行きました。脇に沢があり、水がとても綺麗で花も咲いており目を楽ませてくださいました。

30分程車道を歩くと高源寺に到着、ここから先はかなり急なアスファルトの道となりました。右手に畑を見ながら頑張って登って行きました。

まもなく登山道に到着、ここから各自のペースで登って行きました。私は、若林さん・乾さんと3人で最後尾をゆっくり進みました。乾さんは、傘を片手に気持ち良さそうに登って行きましたが、私と若林さんは上下にカッパを着込んでいたため汗だくでへトへトになりながら登って行きました。

1時間程で高水山手前の分岐に到着。左は高水山へ直接、右は常福院を經由して高水山。我々3人は右に進みました。5分程で常福院に到着。木々に囲まれ風情のある立派な寺院でした。本来ですとここで小休止なのですが、先に行ったメンバーが見あたらないので急いで高水山に向かいました。

10分程で高水山山頂に到着、木々に囲まれた展望のない山頂。しかし誰もいません。しばらくすると先に行ったメンバーが上がって来ました。手前の分岐を左に進み、途中で我々を待って登って来たとの事でした。そんな事もあり、バタバタしているうちに高水山での記念撮影も忘れて次の山に向かいました。

急な下りを丁寧に降り、しばらく尾根道を進むと岩茸石山の登り口に到着。ここで岩茸石山に登らないで次の山へ向かおうという意見も出ましたが、乾さんの“それでは高水三山ではない”との一言で登ることに決定。急な道を登って行きました。10分程で岩茸石山の山頂に到着。ここは展望の開けた広い山頂でしたが、霧のため景色を楽しむことは出来ませんでした。

ここでも昼食にするかどうかで意見が分かれましたが、乾さんの“お酒を飲んだ後、もう一つ山に登るのはしんどいだろう”との一言で次の山に向かう事になりました。再び急な下りを

丁寧に降り、しばらく尾根道を進むと最後の惣岳山の登り口に到着。かなり急な岩場を登って行くと惣岳山山頂に到着、木々に囲まれた山頂には小さな社殿がありました。

ここで先頭を歩いていた石井さんが道を間違え、先に打ち上げ場所の玉川屋に向かうとの連絡が入り、やむなく残りのメンバーで昼食となりました。原夫人よりチョコレート、若林さんより自家製玉子焼きの差し入れがありました。丸太に腰掛け食事をしておりましたが、小雨まじりであまりに寒いので短時間で切り上げ下山することになりました。

下山道は滑りやすい急な下り坂。私と乾さんが足を滑らせ 1 回ずつ地面に手を付きました。若林さんは足を踏ん張りすぎて 3 回足をつりました。苦勞しながらも1時間程で下山しますと、そこに磯部さんが立っておりまして温かく迎えて下さいました。そして一緒に玉川屋に行きました。

ここで先程はぐれた石井さん、打上げから参加の原さんご主人と合流しまして打ち上げスタートとなりました。おいしい蕎麦焼酎と味噌田楽・山菜・天ぷら・お蕎麦などを堪能しながら大いに盛り上がりました。

帰り際、“棚に置かれているダルマの眉毛が以前より伸びているのでは”との磯部さんからの指摘。店の人に確認したところ伸びているとの事。半信半疑ではありますがダルマをバックに記念撮影、今度来た時に確認ということになりました。

店を出て御嶽駅に到着後、ホーム上で石井さんよりビールの差し入れがありました。まもなく東京行きホリディ快速が到着。雨天のためガラガラで全員座ることが出来ました。そのまま流れ解散となりました。

今回は、一日雨のハイキングで苦勞も多かったです、人も少なく静かな山歩きを楽しめたと思います。

皆さん、たいへんお疲れ様でした。